

学校連携事業

「まるびい アートスクール・プログラム」(文化庁芸術拠点形成事業)

「まるびい アートスクール・プログラム」では、学校による美術館利用の促進と美術館の教室化を目指し、2年間で4つのプログラムを開発した。

2005年度に実施した「音のかけら」では、金沢健一の作品を体験した。「もうひとつの楽園」展に出品中の作品を用いて、作家自身がパフォーマンスを見せるところから始まった。続いて児童も体験し、その作品と同じ工程でグループごとに作品を作り、完成した作品でパフォーマンスを楽しんだ。

同年2本目のプログラム「ペイント・マイ・ルーム」では、当館所蔵の西山美なコの作品《ザ・ビンくはうす》を中心とした制作、鑑賞、作家との交流が行われた。児童は「あこがれの部屋」と題する作品を個々に又グループでも制作し、後日、美術館にて本物の作品と出会うという内容であった。

2006年度実施の「ミンナデツドウミンナテツドウ」は、小島久弥の映像作品と同じ手法で、作家と児童のコラボレーション作品を作るものであった。鉄道模型に仕掛けられたカメラが映し出す風景を児童が持ちよった宝物を中心に構成した。

同年2本目のプログラムでは、木村太陽の作品を借用し、教室で一日だけの展覧会を開催した。作品を鑑賞し、次回に美術館で体験する同作家の作品世界へと想像力をふくらませた。1ヶ月後に作家と出会って各自の想像世界を発表したあと、「リアル・ユートピア～無限の物語」展出品中の木村の作品とともに鑑賞するという内容であった。

これらのプログラムは、市内の学校との連携により実施された。既に「ミュージアム・クルーズ」などで美術館を訪れ、本物の作品と出会う体験をもつ児童が大半であったが、作品を創った人との出会いは作品鑑賞の深化をもたらし、造形活動への興味を引き出したようである。

この事業は、美術館のコレクションを中心にしており、開発したプログラムは今後もコレクションと連動した授業に活用可能である。また、プログラムの蓄積とともに、学校ー美術館の連携活動の継続は、将来的に地域の文化活動の深化につながるのではないかだろうか。

(平林 恵)

2005年度「音のかけら」

講師: 金沢健一

対象: 金沢市立長田町小学校 4年生48名

2月17日(木)金沢21世紀美術館

3月2日(木)金沢市立長田町小学校



左 | 金沢健一が「音のかけら」でパフォーマンス。鑑賞する児童
右 | 自分たちで作った「音のかけら」を体験する

2005年度「ペイント・マイ・ルーム」

講師: 西山美なコ

対象: 金沢市立犀川小学校3年生64名

3月15日(水)金沢市立犀川小学校

3月23日(木)金沢21世紀美術館



左 | グループに別れて「あこがれの部屋」を制作。切ったり、貼ったり、絵を描いたり、組み立てたり、協力して作業を進める
右 | 西山美なコ《ザ・ビンくはうす》を鑑賞する

2006年度「ミンナデツドウミンナテツドウ」

講師: 小島久弥

対象: 金沢市立新堅町小学校5年生22名

2月9日(金)金沢21世紀美術館

2月13日(火)金沢市立新堅町小学校



上 | 教室にて、小島久弥と一緒に作品制作

下 | 「ミンナデツドウミンナテツドウ」撮影。モニタ画面を見つめる児童

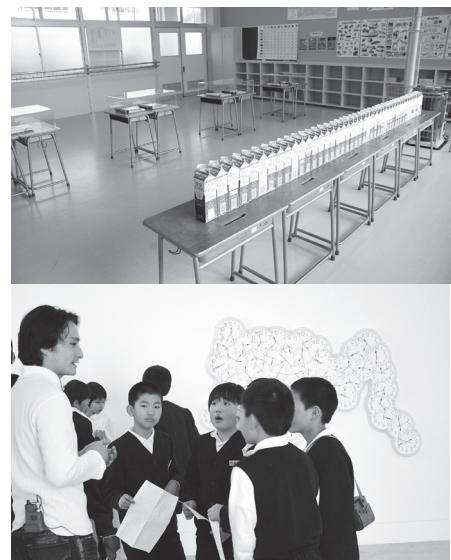
2006年度「私の気になるもの探し」

講師: 木村太陽

対象: 金沢市立材木町小学校4年生71名

2月27日(火)金沢市立材木町小学校

3月20日(火)金沢21世紀美術館



上 | 教室にて展示された作品

下 | 木村太陽との交流